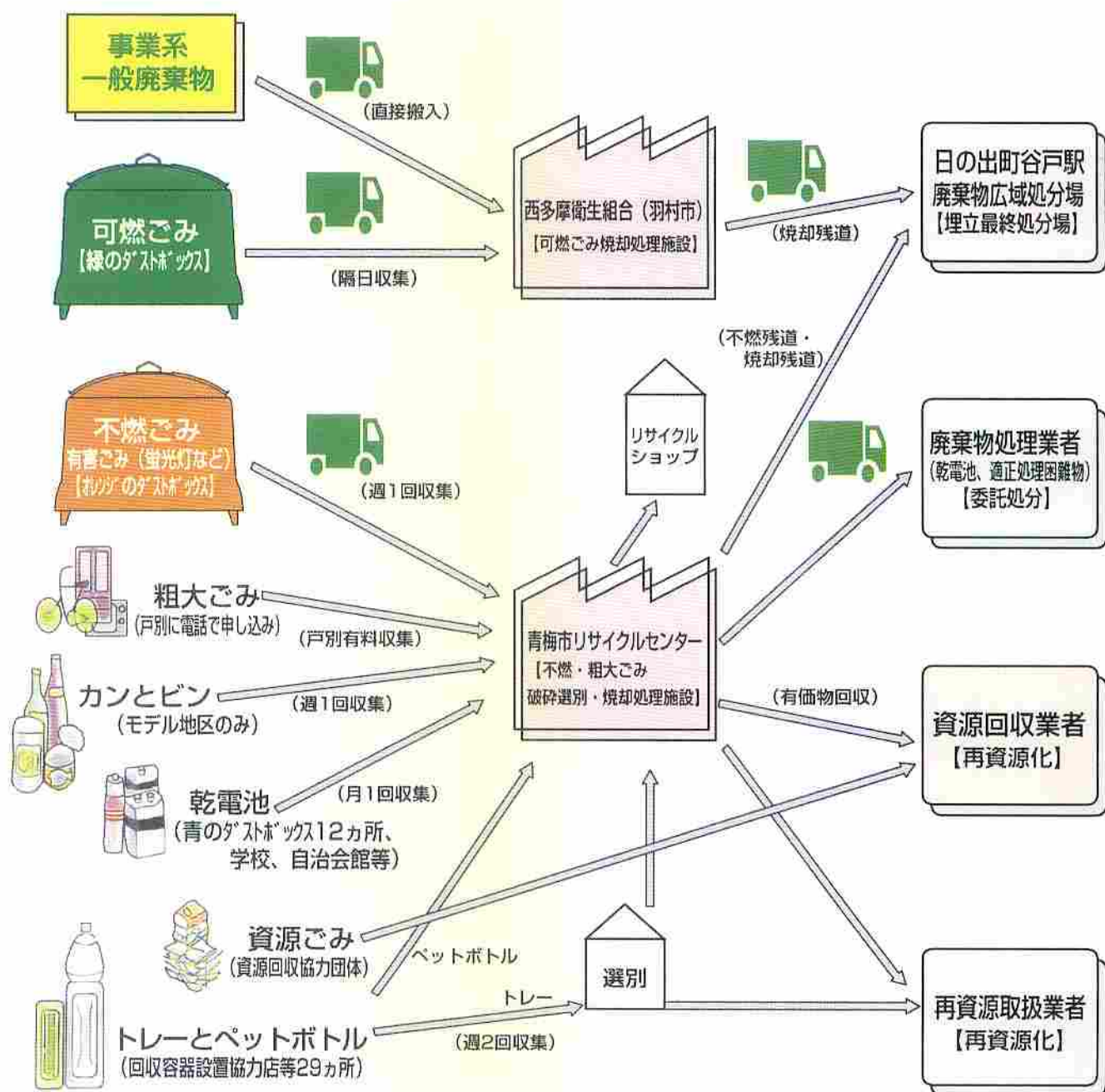


2 青梅市のごみの流れ

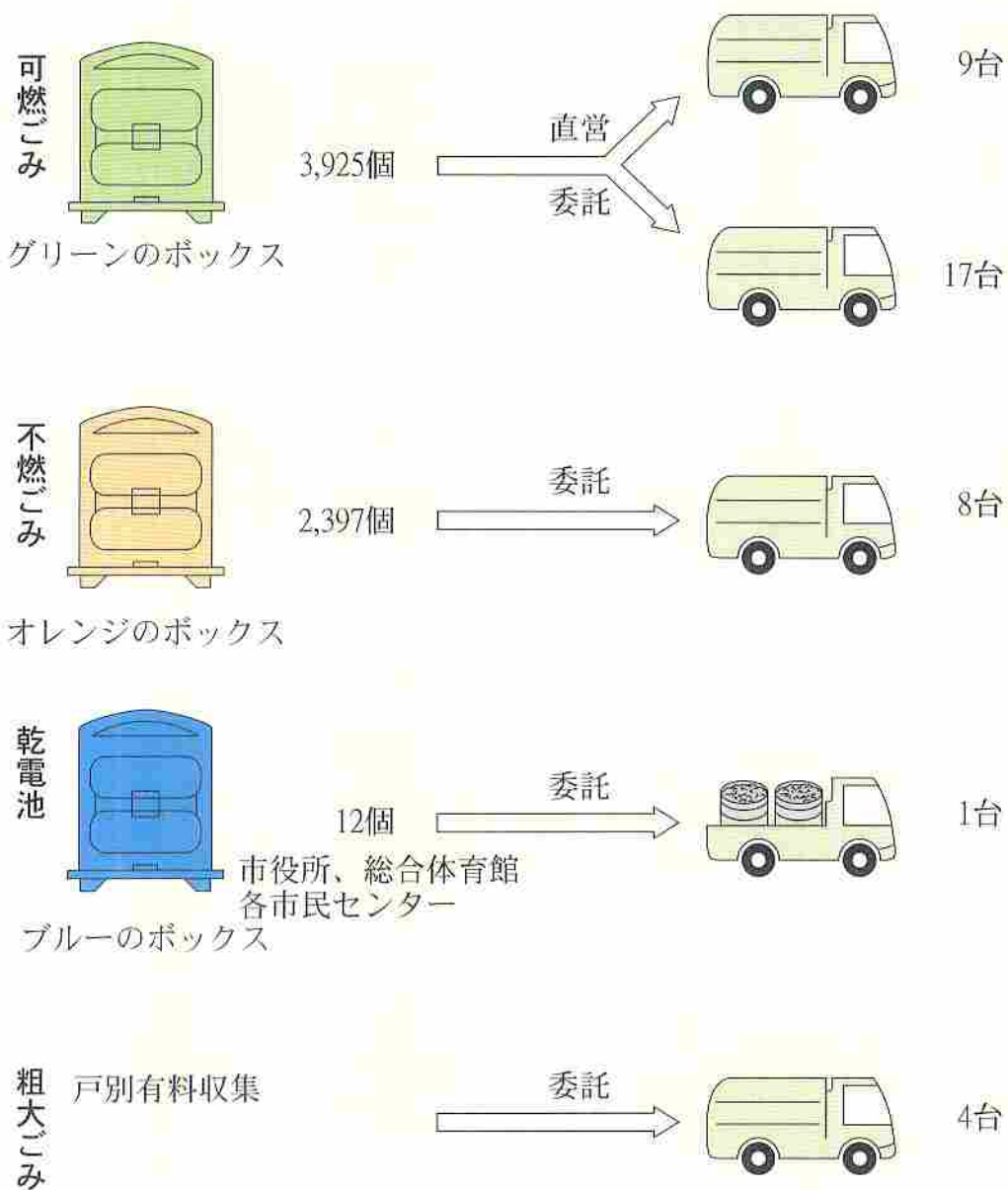
図表1-a, bのように、皆さんが出したごみは再利用できるものは、主にリサイクルセンターをへて再資源化へと向かい、他は最終的には、日の出町谷戸沢の埋め立て最終処分場へと運ばれています。では、何がそんなに深刻な問題になっているのかを皆さんと学習していきましょう。



(注) 平成7年4月現在

☆収集方法・車両・ダストボックス等について（平成7年4月1日現在）

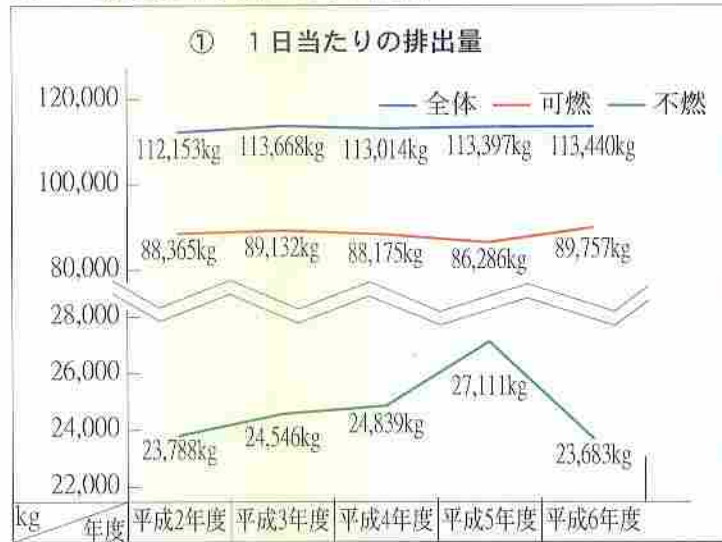
可燃ごみ	週3回収集	ダストボックス収集（一部手積み）
不燃ごみ	週1回収集	ダストボックス収集（一部手積み）
粗大ごみ	電話申込みによる戸別有料収集	
	直営…市の職員が回収にあたる	
	委託…民間の業者が回収にあたる	



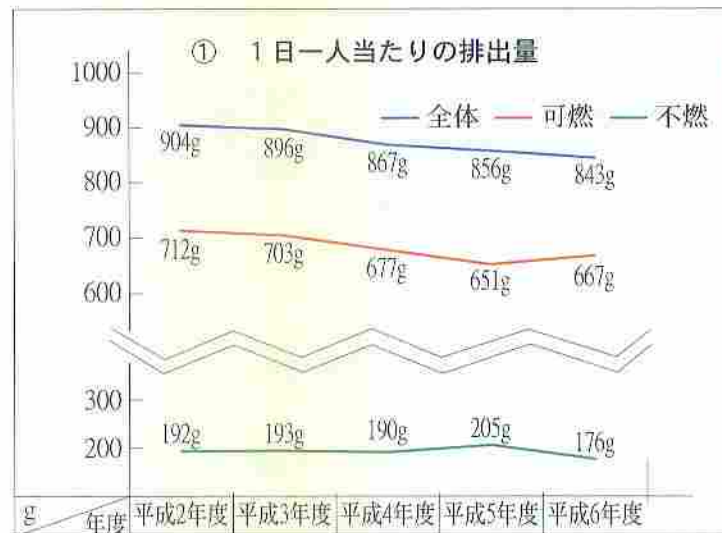
図表2 「青梅市のごみの処理状況」より

ごみ排出量

◎ 年度別ごみ排出量の状況



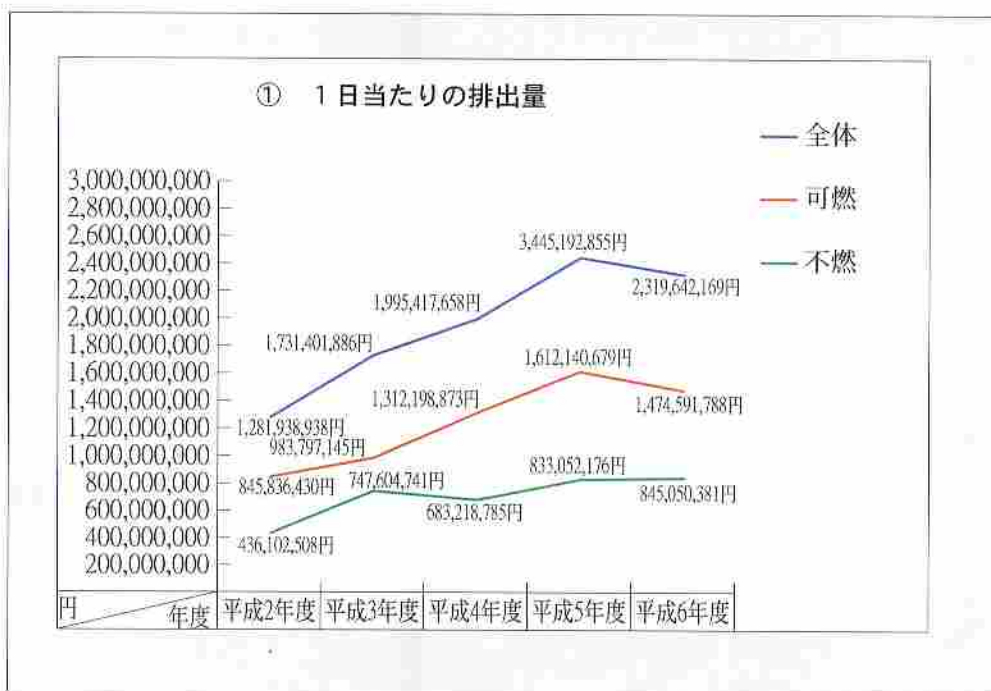
図表3-a



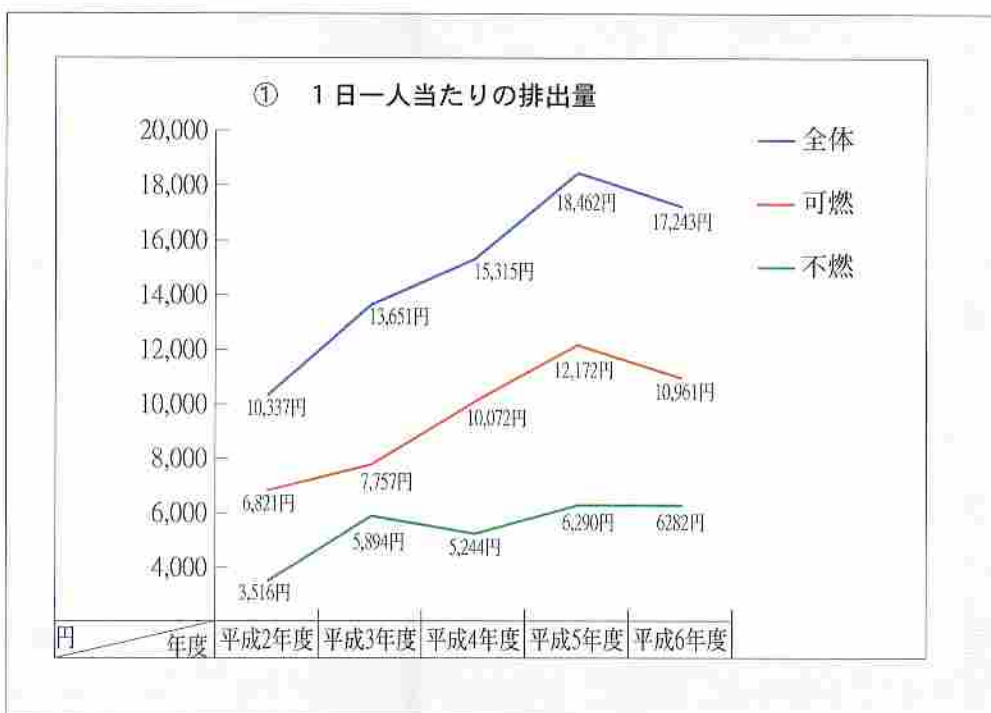
図表3-b

図表2は、青梅市のごみの収集方法について説明している図です。皆さんも、ダストボックスを知っていると思いますが、ごみを可燃ごみ、不燃ごみ、乾電池、粗大ごみと、きちんと分別して出していますか。きちんと分別されていないことが第1の問題なのです。

次に図表3-bを見てください。これは、年度別ごみ排出量のグラフです。皆さんは、1日あたりどのくらいのごみを出していると思いますか。平成6年度で1日平均、可燃ごみ667g、不燃ごみ176g、合計843gのごみを、市民1人が出していることとなります。ここ2～3年1人あたりの排出量は、多少減る傾向にあります。しかし、1日あたりの全体の排出量は増加しています。いかにごみの全体量を減らすかが、第2の問題です。

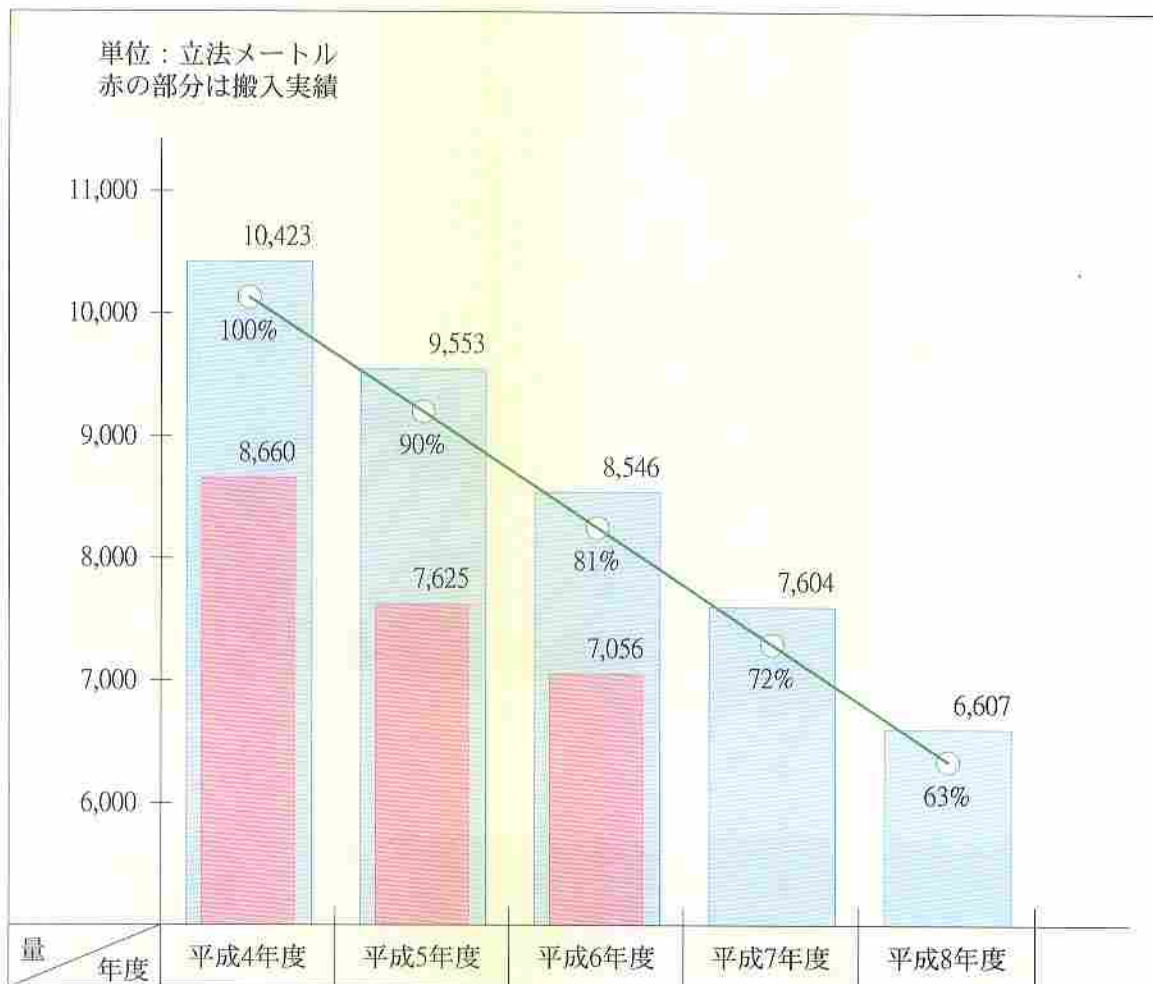


図表3-c



図表3-d

◎ 日の出町最終処分場への年度別搬入配分容量と搬入実績



図表3-e

図表3-dは年度別ごみ処理費をあらわした表です。皆さん1人あたり平成6年度可燃ごみ10,961円、不燃ごみ6,282円、合計17,243円ものお金が、ごみ処理のために使われたこととなります。全体では、平成6年度2,319,642,169円使われています。不燃ごみは、ごみ処理に特に費用がかかるようです。市の予算の中でもごみの処理費は、全体の9.2%になっています。処理費を少しでも減らすことが、第3の問題です。

図表3-eは日の出町最終処分場への年度別の青梅市の搬入配分量と実際の搬入量ですが、年々減少しておりあと数年でいっぱいになることが予想されています。ごみの最終処分場の問題が、もっとも難しい第4の問題です。



多摩川の清掃